

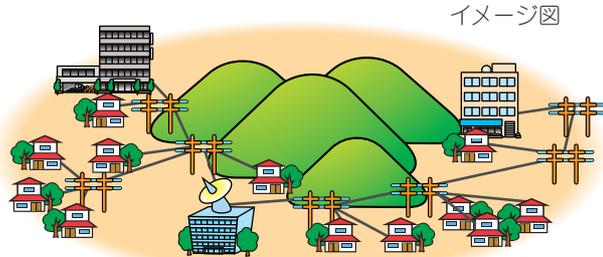
情報通信基盤整備(ケーブルテレビネットワーク)事業の実施に向けて取り組んでいます



連載③

このコーナーでは、黒潮町が実施に向けて取り組んでいる「情報通信基盤整備(ケーブルテレビネットワーク)事業」の内容についてお知らせしています。

光回線ケーブルを、町内の全地域に整備します。公共施設だけでなく、各戸への音声告知、テレビ(月額1,050円程度)や光インターネット(月額4,200円程度)のほか、さまざまなサービスを行います。



イメージ図

光回線ケーブルを町内の各家々へ整備させていただくとともに、役場や学校、図書館や各地区の集会所などの公共機関の施設にも整備していきます

個人宅の整備

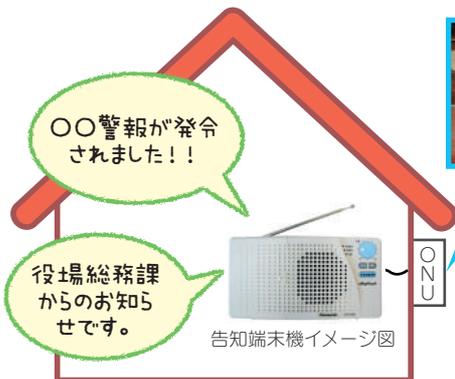
「告知端末機」を全戸に設置させていただき、音声で行政放送や緊急・災害時の告知放送などを実施します。

そのため、みなさんのお家の軒下(外壁)にONU(光端末装置)※という機器を取り付けさせていただきたいと考えています。

※ONU(光端末装置)は光の信号を電気信号に変換する装置です。



ONU設置のイメージ図



〇〇警報が発令されました!!

役場総務課からのお知らせです。

告知端末機イメージ図

現在の状況と整備予定

昨年12月議会で、情報通信基盤整備の実施設計予算が可決となりました。

町内全域への光ケーブル整備を行うため、実施設計を作成する業者を決定し、その後、施工業者を決定します。その間、電柱の調査、民間事業所に対し、電柱への光ケーブルの共架申請も行います。

これらの業務が終わり次第、工事を開始し、地上デジタル放送に完全移行となる2011年(平成23年)7月までを一定の目標として整備を完成させる予定としています。

Q どの地域(地区)から整備を始めますか?

A 地デジが完全移行になったときにテレビ視聴がなくなる可能性のある地域から順に整備する予定です。

Q 地デジ放送が見ることができない地域とは?

A 山間部などでテレビの電波が届きにくく、自宅に個別でアンテナを設置しても視聴することができない地域が「難視聴地域」ともいいます。

Q 難視聴地域ではどのようにテレビを見ているのですか?

A 難視聴地域では、複数の地区・単地区ごと・数世帯などでグループを作り、共聴アンテナ施設を建て、各家に同軸ケーブルをつないでテレビを視聴しています。



共聴施設は各地域によって電波受信が可能な場所に整備されており、施設の規模もさまざまです。

共聴アンテナ施設の改修や新規整備をすることで地デジの視聴は可能ですが、高齢化や人口減少による維持管理や会計管理など労力的・金銭的な負担増加が改修時(新規整備時)も将来的にも懸念されます。このような状況に対して、町全体を均一に整備し、どこに住んでいても同じようにテ

レビの視聴ができる環境をつくるのが情報通信基盤整備の目的のひとつでもあります。

Q 共聴施設を使用せずにケーブルテレビに加入する場合には、既存施設の撤去費の支援はありますか?

A 情報通信基盤整備事業の運営を推進するためにも、ある一定の支援策を講じる予定です。

現在検討中の項目

- テレビやインターネットの有料サービスの減免制度の内容
- 共聴施設の撤去費用に対する支援策の内容 など
- ※ 決定次第詳細をお知らせします

○ お問い合わせ

本庁総務課 企画振興係
☎ 43-2112(直通)